

一般社団法人 福島県作業療法士会
2022年度 第4回理事会抄録

日時：2022年10月26日（水）18：00～19：20
場所：Zoom システムによる WEB 理事会

1. 会長挨拶

2. 定足数報告(総務部長)

出席者数24名（内理事数13名）県士会定款第30条に基づき成立

理事：長谷川、五百川、若林、佐藤、岡本（佳）近澤
村山、安斎、根田、松下、塚田、平野、高野

監事：渡邊、岡本（宏）

委員長：嶋原

副部長：荒井（財務）、日下部（総務）

支部長：高橋、前田、成田、小木、矢吹、小野

3. 三役の会議等出席動向

月日	内容	場所	出席者
9/10	日本作業療法士協会 47 委員会	Web	長谷川、若林、佐藤、高野
9/14	福島県リハビリテーション専門職団体協議会	Web	長谷川、若林、平野
9/24	福島県社会福祉協議会 介護ワンポイント講座	男女共生センター	長谷川
10/5	福島県地域ケアシステム推進会議(福島県医師会)	Web	長谷川

4. 議題1(検討・決議事項)

1) 災害時安否確認マニュアルについて(災害対策委員会 高橋副委員長)

災害時安否確認マニュアルを前回の理事会で頂いたご意見をもとに修正した。その内容について再度ご検討いただきたい。⇒承認

2) 設立 40 周年記念事業実行委員会からの補正予算について(若林委員長)

設立 40 周年記念事業の今年度の予算について、印刷費、交通費、記念品での予算超過により補正予算を検討いただきたい 補正予算額：200,000 円

⇒承認

3) リハビリテーション専門職団体協議会で進めていた補助金事業についての今後の方針について(長谷川会長)

これまで PT、OT、ST 士会はリハビリテーション専門職団体協議会として合同で、地域包括ケアシステムに資する人材育成と活動等を、福島県からの補助金事業として申請し活動してきた。

しかしながら、ここ数年、税金分の負担増や講師の低報酬の問題、また事業規模の増大化により一時立て替え金額がかなり大きくなっていることなど、少しずつ不具合が出てきた。

⇒OT 士会としては各士会(各団体)に落とししていく方針

5) その他

塚田：IT 関係で確認。各部で使えるメールアドレスについて、2段階認証などで大変になっている。士会で使えるアドレスはあるか。また別件だが HP などで会員限定で所属会員が見られるようにできないか。

高野：HP のサーバーで使っているアドレスのドメインがあるのでそれは使えるが、設定の手順が面倒な部分がある。

佐藤：対応できるか検討していく。

議題2：報告案件

1) 2022 年度災害シミュレーション訓練について(高橋副委員長)

9/25(日)日本作業療法士協会の災害シミュレーション訓練を実施。本会の結果について報告する。

第一報：全体 735/1063 人(69%)【参考値】2021 年度：55%

第二報：全体 835/1063 人(79%)【参考値】2021 年度：72%

2) 学術部より(近澤部長)

・福島県作業療法学会(開催中)について
一般演題数：16、参加登録人数：99 人(10/14 時点)

・学術誌「福島県作業療法学」
第 3 巻の進捗状況：1 論文で 2023 年 3 月頃に発刊予定(第 3 巻分は 10 月末でいったん締め切り)

・掲載証明書の発行開始について
今後、投稿者から要望があった際に別紙の様式で掲載証明書を発行。

3) 設立 40 周年記念事業実行委員会より(若林委員長)

11 月 13 日 ホテルハマツでの記念式典、記念講演会は対面実施決定。

実行委員含め県士会理事、支部長におきましては、当日運営委員として協力をお願いしたい。

4) その他

前田：いわき医師会の声掛けで他職種連携として、小中学生に対する職業紹介動画を作成したものが完成。好評でいわき市のワクチン接種会場でも動画が流れた。

5. 副会長挨拶(若林副会長)